

■タイムテーブル

18:30～ 開場(受付開始)

19:00～ 開会の挨拶・プログラム紹介

第一部 東北の復興について

復興の進み具合と人材不足／求められている人材とは？

・日本財団「WORK FOR 東北」事務局より

19:10～ 第二部 パネルディスカッション [テーマ]東北でみつけた 私らしい働きかた

[ファシリテーター]鈴木菜央氏(NPO 法人グリーンズ代表/greenz.jp 発行人)

[パネリスト]諸戸彩乃氏(元 NPO カタリバ「女川向学館」)

菅野孝明氏(浪江町役場)

19:45～ 質疑応答

19:50～ 第三部 被災地受入団体プレゼンテーション

岩手県釜石市、宮城県石巻市、宮城県 みやぎ連携復興センター、

福島県三島町(奥会津復興センター)、福島県 NPO 法人寺子屋方丈舎、ETIC.他 調整中

20:25～ 休憩・個別相談会準備

20:30～ 第四部 個別相談会

21:00 閉会の挨拶

※時間、プログラム、登壇者、出展団体等は調整中につき変更となる場合がございます。

■ファシリテーター紹介

greenz.jp 発行人/NPO 法人グリーンズ代表理事 鈴木 菜央(すずき なお)さん

NPO グリーンズ代表/greenz.jp 発行人 1976 年バンコク生まれ東京育ち。2002 年より 3 年間「月刊ソトコト」にて編集。独立後 06 年「ほしい未来は、つくろう」をテーマにした Web マガジン「greenz.jp」創刊。07 年よりグッドアイデアな人々が集まるイベント「green drinks Tokyo」を主催。著作に『「ほしい未来」は自分の手でつくる』(講談社 星海社新書)。

■パネリスト紹介

赴任後、東京に戻ってキャリアを活かしている人 諸戸 彩乃さん

1980 年生まれ。大学卒業後、リクルートグループにてフリーペーパーの広告制作ディレクター、ファッションページの立ち上げ、編集を担当。その後、広告代理店で法人営業、クライアント企業の CSR 業務に携わる。震災後、学生時代から興味があった教育に携わりたいとの思いから NPO カタリバに転職し、2012 年 5 月より宮城県女川町に移住。女川向学館にて小学 1～4 年生の学習支援、中学 3 年生の社会科、高校生との外部プロジェクトを担当。2014 年 4 月から、東京都内の公立中学校の教員として勤務。

これまでのキャリアを活かし、そのまま赴任先で活躍している人 菅野 孝明さん

浪江町役場 復興支援専門員。1969 年福島県伊達郡川俣町生まれ。建設コンサルタント、教育関連企業を経て 2012 年に故郷の福島に戻り、浪江町復興支援コーディネーターとして活動。町民へのヒアリングを通してニーズや課題の整理、自治体と現場の調整・計画の修正に携わりながら住民の合意形成支援を行う復興に向けたまちづくりなどを担当。コミュニティ形成支援や住民中心のまちづくり会議の運営サポートを行い、町民主体の動きを促進させた。